

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【公表番号】特表2010-504267(P2010-504267A)

【公表日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-006

【出願番号】特願2009-528532(P2009-528532)

【国際特許分類】

C 01 B 13/36 (2006.01)

C 07 C 65/21 (2006.01)

【F I】

C 01 B 13/36

C 07 C 65/21 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月15日(2010.9.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

金属酸化物粒子の製造方法であって、

a)

コア有機材料、

化学的に開裂されが可能な第1の連結基を介して前記コア有機材料に結合した第1のデンドロンであって、少なくとも2つの第1架橋性基を有する第1デンドロン、及び
化学的に開裂されが可能な第2の連結基を介して前記コア有機材料に結合した第2のデンドロンであって、少なくとも2つの第2架橋性基を有する第2デンドロンを含むデンドリマーを提供すること；

b) 前記第1架橋性基と前記第2架橋性基とを反応させることによって架橋されたデンドリマーを形成すること；

c) 前記第1連結基と前記第2連結基の両方を化学反応によって開裂すること；

d) 前記コア有機材料又はその誘導体を、架橋されたデンドリマーから除去して、内部末端基を有するコア抜きされたデンドリマーを形成すること；

e) 前記コア抜きされたデンドリマーの中央領域の中で、金属含有前駆体を前記内部末端基と反応させることによって、結合金属含有前駆体を形成すること；及び

f) 前記結合金属含有前駆体を反応させて、前記コア抜きされたデンドリマーの前記中央領域の中に金属酸化物粒子を含む複合粒子を形成すること、を含む方法。

【請求項2】

複合粒子であって、

有機材料を含まない中央内部領域を取り囲んでいる架橋されたデンドロンからなるコア抜きされたデンドリマー、及び

前記コア抜きされたデンドリマーの中の金属酸化物粒子を含む複合粒子。